

Title	編集後記
Sub Title	
Author	寺尾, 誠
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1963
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.56, No.10 (1963. 10)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19631001-0119

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

酷暑の時期に、原稿をお書き下さった奥井先生を始め、執筆者の方々に感謝します。

最近、世界中でアジアが再び注目され始めている。一頃民族的独立が連続して行われ、バンドン会議にそれらの新興独立国が結集した時期にも、世界の注目を集めた。しかし最近この地域が、新しい注目の的となっているのは、アジア・アフリカ諸国の連帯というよりは、むしろ相互の分裂のためである。例の中ソ論争にしても、ソ連に対する中国の反撥の背後には、これまで極端に伝統と植民地支配に縛られてきたアジアの現実が感ぜられる。また中国とインドの国境紛争事件やマレーシア連邦に対するインドネシア・フィリッピンの抵抗、中近東におけるナセル主義とバース主義の対立等、分裂の兆は、到る所にある。

そういう時期に、日本の首相は、アジア諸国を歴訪し、各国の宥和・協調を説いた。タイミングからいえば、頃合であったにも拘らず、その説得は必ずしも各国の受け入れる所ではなかった。それ程アジア諸国の分裂の背景は、広大であり、丁度明治維新後の近代日本の歩みに似たものがある。我々は、日本とアジアの現実、その歴史的背景について、もっと独自の問題意識と分析方法をもって、研究する必要があるのではないだろうか。池田首相が、「トランジスタの商人」とドゴールに批評されたそうだが、この批評は戦後の日本人一般に対する批評としても痛切なものがある。

(寺尾 誠)

昭和三十八年十月一日発行

◎三田学会雑誌 第五十六卷 第十号

定価 一、二〇円(送料別)

東京都港区芝三田二丁目二番地

慶應義塾経済学会

編集兼 代表者 山本 登

電話三田(41)五一八一
振替口座番号 東京四四〇五六

印刷者 東京都港区芝三田豊岡町八番地
図書印刷株式会社

安倍七郎

半カ年予約購読料(送料共) 七二〇円

一カ年 " " 一四四〇円

御希望の方は左記へ購読料を添え御申込み下さい。

東京都高輪局区内三田綱町一番地

発売所 慶應 通信

振替口座番号 東京一五五四九七